

平素より施設の装置をお使い頂きありがとうございます。

此の程の国内・県内・市内の新型コロナウイルス感染症の感染状況および名古屋大学の警戒カテゴリー・活動指針から、9月7日以降に関して、以下の通りの新たな基準での装置共用とさせていただきます。(2頁目に変更点をまとめております。)

○利用可能装置: 施設内全装置

○人数制限: 装置1台当り

JEM1000K RS: 4名

NX5000ETHOS、JSM-6610A、MI4000L、FB2100: 2名

その他: 3名

○予約可能期間: コロナ禍以前に準ずる

JEM1000K RS: 2カ月

CsTEM、Cold-ARM、JEM2100F/HK、NX5000ETHOS、MI4000L: 2週間

その他: 1週間

○利用可能日時: 全平日の9時～17時

○利用可能者: コロナ禍以前に準ずる(施設主催の講習会を受講した装置利用者の全て)

今後、国内や県内の新型コロナウイルスの感染状況によっては、共用の限定度合いを強化する可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

利用者の皆様にはご不便おかけいたしますが、趣旨ご理解の上ご了承・ご協力の程宜しくお願い致します。

変更点

○人数制限:

制限を緩和しています。詳細は1頁目。

○利用可能者:

制限を緩和しています。現在の基準では、学士課程、修士課程の学生の教員随伴は必要ありません。1名からご利用いただけます。

○行動履歴:

学内の機器利用・依頼分析・共同研究の利用者に関しては、都度提出の講座責任者の署名入りの保証書は、現在の基準では必要ありません。

施設玄関口にて、利用者ご本人の署名で良い簡易的なものを設けますので、入館時に内容を確認の上ご署名ください。

○入館管理

平日の9時～17時に限って、施設の正面の自動扉を開錠します。現在の基準では、職員証・学生証をカードリーダーに読み込ませる必要はありません。上記の行動履歴の署名を入館管理に替えますので、入館時にご署名ください。

○利用可能日時

制限を緩和しています。また、コロナ禍以前のような夜間や土日祝の利用については、必ず事前に技術職員に都度相談ください。

入室時注意事項

1. 施設内は常時マスク着用のこと
2. 部屋入室前（ドアノブに触る前）に手及び外側ドアノブのアルコール消毒
（各実験室の扉付近に消毒用80%アルコールと紙を設置しております）
3. 入室後、すぐに内側ドアノブのアルコール消毒をして、紙を室内のごみ箱に捨てる
4. 実験終了時は、次の人のために、多く触った箇所をアルコール消毒する
5. 退室後にもう一度手のアルコール消毒

マスクはご持参ください。消毒用アルコールは施設で準備しております。

変更点

○室内での手袋の着用は省略されて構いません。気にされる方は、個人的に継続ください。